



産業用 有圧換気扇 (低騒音形・大風量形)

Table with 4 columns: Model Name, Blade Diameter (cm), Indoor/Outdoor, and Large Capacity Model Name, Blade Diameter (cm), Indoor/Outdoor.

取扱説明書 (据付工事説明書付)

(お客様へ) ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。 (工事店様へ) 据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。 This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

1.安全のために必ず守ること

- 警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

Grid of safety instructions with icons for water prohibition, disassembly, contact, and electrical safety.

Grid of safety instructions with icons for prohibition, disassembly, and electrical safety.

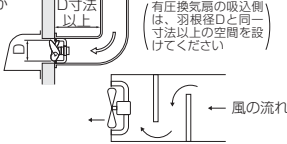
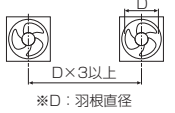
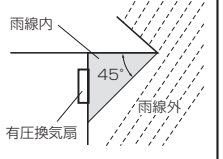
2.据付け前のお願い

工事店様へ



●軸垂直羽根下向き姿勢で据付ける場合
モータ内部のプレロードスプリングを反対側に移す必要があります。この取扱いは必ずお近くの「三菱電機システムサービス株式会社」(同梱の三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口)に依頼してください。

- 機器組込用途でご使用いただく場合には、最寄りの弊社販売店にご相談ください。
●この製品は高所取付用です。床上1.8m以上に据付けてください。
●2台以上近接して据付ける場合は、右図のように羽根径の3倍以上離して設置してください。



3.各部のなまえと外形寸法図

工事店様へ

Exploded view diagram of the fan and detailed dimension drawings for EJ and KG types.

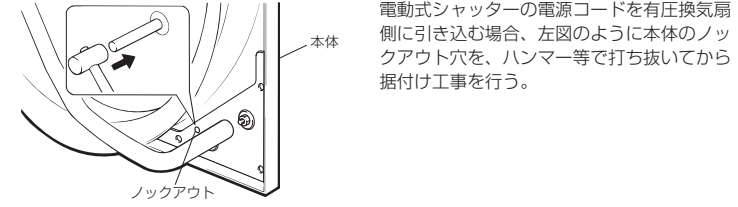
4.据付方法

工事店様へ

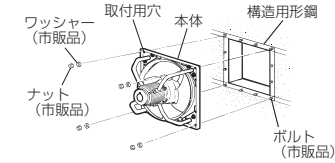
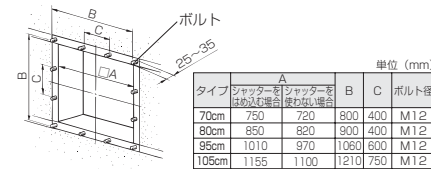
- 警告 この製品は高所取付用のため床上1.8m以上に据付ける。
注意 開梱・据付けの際は手袋を着用する。製品は据付けは振動のない強固な場所に確実に設置する。

天井近くの高い位置で反対側に空気取入口がある場所が効果的な据付場所です。 ※2台以上近接して据付ける場合は、製品と製品の中心間の距離を羽根径の3倍以上に離してください。

電動式シャッターを取付ける場合



コンクリート壁に据付ける場合



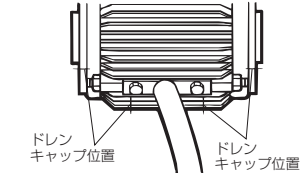
1. 構造用形鋼等で取付位置に枠を作り、ボルトを溶接等で確実に固定する。(12か所)

2. ボルトに本体12か所の取付用穴を通し市販のワッシャー・ナットで確実に固定する。

お願い

- コンクリート壁直付けは行わないでください。必ず形鋼などで枠を作り、据付けてください。
- 羽根を持って運ばないでください。

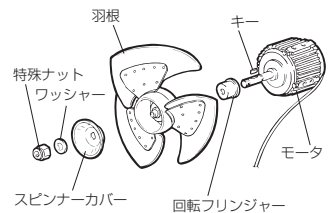
ドレンプラグについて



屋外や湿度の高い場所で使用の場合は、モータに設けたドレンキャップが下側になるよう据付け、下側になったドレンキャップは取りはずす。
※ほこりの多い場所では取付けたまま使用してください。(ときどき取りはずして点検してください)

給気用として使用する場合

■電動式シャッターと組み合わせる場合は、必ずシステム部材の給気専用遅延タイマーボックスを使用してください。有圧換気扇と電動式シャッターを同時に運転した場合、シャッターが破損するおそれがあります。
■工場出荷時は排気仕様です。給気用として使用される場合は羽根の付け換えと結線の変更が必要です。(図はEJタイプを示す)



1. 特殊ナット・ワッシャーをはずし、モータシャフトからスピナーカバーと羽根を取りはずす。

2. 羽根とスピナーカバーを裏返してモータシャフトに差し込み、特殊ナットで確実に締め付ける。

●キーがはずれた場合はキーをはめ込み、羽根を差し込む。
●特殊ナットは締付トルク94~126Nmで締め付けてください。

お願い

- 特殊ナット以外のナットを使用しないでください。キーの入れ忘れ、特殊ナットの締め付け不足にご注意ください。(羽根の破損・製品の故障の原因になります)

3. 結線の変更をする。
●電源接続のリード線2本を入れ換える。

●羽根の付け換えをしますと、羽根の先端が取付枠から出ます(A寸法)ので、羽根を变形させないように注意してください。また、羽根側を下にして換気扇を置かないでください。

●機器組み込みの場合、羽根があたらぬか確認してください。

●電動式シャッターを使用する場合は「A寸法+20mm」以上の厚さの壁をはさんで据付けてください。

5.電気工事

工事店様へ

警告

定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
アース工事は必ず有資格者である電気工事が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う故障や漏電のときに感電の原因。

注意

電気工事は必ず有資格者である電気工事が内線規程や電気設備技術基準に従って行う 絶対に「手より接続」はしない 又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属製ボックス」内で行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

- 電源は3相200/200/220V (50/60/60Hz) です。電源の間違いがないか確認して接続してください。間違った電源で運転するとモータが焼損します。
- 必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
- 漏電ブレーカを必ず設置してください。
- モータの過負荷保護のためモータブレーカまたは電磁接触器(電磁接触器+サーマルリレー)の過負荷保護装置を使用してください。過負荷保護装置は必ず機器1台ごとに取付けてください。過負荷保護装置の選定は仕様書の最大負荷電流の1.2倍程度を目安にしてください。

6.試運転

工事店様へ

据付け、電気工事終了後、必ず次の1~4を確認し、試運転を行って5,6を確認してください。

1. 製品は確実に据付けてありますか。
2. 電源コードに傷・いたみはありませんか。
3. 正しくアース工事がしてありますか。
4. 電源電圧は正しいですか。
5. 異常な振動や騒音はありませんか。
6. 回転方向が逆ではありませんか。
(回転方向を修正する場合は、3本の電源のうち2本を入れ換える)

7.点検・お手入れ

お客様へ
工事店様へ

警告

お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る
感電やけがの原因。

注意

お手入れや保守点検の際は手袋を着用する
端面などでけがの原因。

3か月に1度の清掃の際、下記の点検を行う。

点検項目	処置
錆	●製品および製品据付用のナット・ボルトが錆びていませんか ●羽根および羽根据付用のナットが錆びていませんか ●部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください 錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください(製品落下および羽根破損/落下によるけがのおそれがあります)
ガタつき	●製品を据付けたナットがゆるんでいませんか ●羽根やモータは確実に止められていますか ●ガタつきがないようにナットを締め付けてください(製品落下および羽根落下によるけがのおそれがあります)
損傷	●モータの外観が変色していませんか ●電源コードにキズなどありませんか ●羽根に亀裂などありませんか ●モータ交換をしてください ●モータ交換をしてください ●羽根交換をしてください (羽根破損/落下によるけがのおそれがあります)
ほこり	●モータなど温度の高い部分にほこりの付着はありませんか ●清掃してください

1年に1回程度

異常音	●ボールベアリングの寿命は約1万時間ですので使用状況によっては、点検のうえ交換が必要です。
錆	●部分的な錆はウレタン系塗料で補修してください ●錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください
コード	●コードにヒビ割れ等がある場合は、モータを交換してください

羽根などの清掃

約3か月に1度を目安に清掃する。

■お手入れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
■ほこりの多い場所で使用している場合は3か月に1度を目安に、下側のドレンプラグまたはドレンキャップをはずしてドレンを抜き、元通りドレンプラグまたはドレンキャップを取付ける。

全体の清掃

■油、粉塵など可燃性の汚れが換気扇に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となるおそれがあります。必ず定期的(約1年を目安)に清掃してください。

お願い

●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコー、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんみ材入りの洗剤
(変質・変色する原因になります)

8.修理を依頼する前に

お客様へ

長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくとも、安全のための診断をお願いします。

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のためブレーカを切り、お買上げの販売店・工事に点検修理をご依頼ください。費用については販売店・工事に相談ください。

現象	点検と処置	点検実施者	
		工事店	お客様
通電しても回転しない	●電源の接続は正しいですか(正しく接続する) ●ブレーカが切れていませんか(入る)	○	○
停止と回転を繰り返す	●自動復帰形サーマルプロテクター(注)が作動していませんか(ブレーカを切って原因を取り除き、モータが冷えてから再運転する)※EJ-70ETC ₃ ・80FTC ₃ のみ	○	○
運転中に異常音や振動がする	●羽根の締め付けがゆるんでいませんか(締め付け直す) ●本体が確実に据付けられていますか(据付け直す) ●軸受の音がしていませんか(軸受を交換する) ●全面に錆が発生していませんか(錆の発生した部品を交換する)	○	○
焦げ臭いにおいがする	●羽根は軽く回りますか(羽根に何か引っ掛かっている場合は取り除く) ●周囲温度が50℃以下ですか(温度を測定する) ●異常に湿度が高い場所で使用していませんか(据付場所およびモータ内部の腐食確認後モータを交換する)	○	○

(注)モータに自動復帰形サーマルプロテクター(過負荷保護装置)が内蔵されているものがあります。拘束、過負荷、欠相運転あるいは周囲温度が基準以上高い場合にはサーマルプロテクターが動作し、回転が止まります。その場合は電源を切り、原因を取り除いてモータが冷えるまで待ってから再運転してください。電源を切らず通電したまま放置しますとサーマルプロテクターが動作を繰り返し、接触不良や接点溶着につながるおそれがあります。この場合はモータ交換が必要となります。

9.アフターサービス

お客様へ

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店が近隣の「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口」(別紙)にご相談ください。別紙チラシが不明な方は下記窓口にお問い合わせください。

■平日 9:00~12:00 13:00~19:00 (土・日・祝・弊社休日以外)

三菱電機換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471 (無料)
所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの三菱有圧換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

10.仕様

お客様へ

工事店様へ

形名	羽根径(cm)	風量(m³/h)	騒音(dB)	質量(kg)	最大負荷電流(A)
EJ-70ETC ₃	70	8500/10000	45/50	52.0	2.0/2.55/2.6
EJ-80FTC ₃	80	12400/14000	51/54	62.0	2.9/3.4/3.4
EJ-95GTB ₃	95	20000/24000	57/61	120.0	8.8/9.2/9.7
EJ-105HTB ₃	105	27300/32700	59/63	139.0	13.0/14.5/15.2
KG-70GTF ₃	70	17100/20400	64.5/68	52.0	6.3/7.8/7.8
KG-80HTF ₃	80	23100/27000	69/73	62.5	8.5/8.7/8.7

3相200/200/220V (50/60/60Hz)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。